

リノベーションまちづくりセミナー「大阪市東成区 空き家の上手な生かし方」

講演録（概要版）

日 時	平成29年11月19日（日） 14:00~16:15	場 所	大阪市立東成図書館 多目的室
主 催	大阪の住まい活性化フォーラム	共 催	東成区役所、東成図書館
出席者	計74名(内訳：一般：60名、市町村：13名、報道関係：1名)		

○プログラム

(1) 主旨説明

大阪の住まい活性化フォーラム事務局 大阪府住宅まちづくり部都市居住課 技師 大森 聡子

(2) 講演①『かもよんにぎわいプロジェクト』長屋再生の取り組みについて

かもよんにぎわいプロジェクト 代表 和田 欣也

(3) 講演②『空き家のリノベーションで暮らしの場をつくる』木造空き家の改修のデザインと耐震補強について

大阪市立大学大学院生活科学研究科 准教授 小池 志保子

(4) 講演③『東成区というまちの可能性』スーパー町内会活動を生かして

株式会社シカトキノコ 代表 藤田 ツキト

(5) パネルディスカッション

泉建設株式会社 楠原 陽子

大阪市立大学大学院生活科学研究科 准教授 小池 志保子

大阪市コミュニティ協会 都市コミュニティ研究室 堀 久仁子

株式会社シカトキノコ 代表 藤田 ツキト

かもよんにぎわいプロジェクト 代表 和田 欣也



リノベーションまちづくりセミナー
先着定員 **50名** 参加無料

区外からの参加も歓迎!

空家、空きビル、空き店舗を活用して、まちづくりに生かすには? その方法を、事例をまじえた講演で紹介します。

空家の上手な生かし方

日時 2017年11月19日(日) 14:00~16:15 13:30より受付

会場 東成図書館 多目的室 (東成区民センター8階)

第一部 14:00-14:30 講演① 『かもよんにぎわいプロジェクト』長屋再生の取り組みについて 和田 欣也 (かもよんにぎわいプロジェクト代表)

第二部 14:30-15:15 講演② 『空き家のリノベーションで暮らしの場をつくる』木造空き家の改修のデザインと耐震補強について 小池 志保子 (大阪市立大学大学院生活科学研究科准教授)

第三部 15:15-16:15 講演③ 『東成区というまちの可能性』スーパー町内会活動を生かして 藤田 ツキト (株式会社シカトキノコ代表)

第四部 15:15-16:15 パネルディスカッション 第一部で講演の3名を加えて、空き家の生かし方についてトーク! 堀 久仁子 (大阪市コミュニティ協会都市コミュニティ研究室), 楠原 陽子 (泉建設株式会社), 和田 欣也 (かもよんにぎわいプロジェクト)

特別講演 16:15 講演④ 『大阪の住まい活性化フォーラム』 http://osaka-sumai-refo.com/ 中野で実施「フォーラム」開催の告知、府民の生活向上と、地域の地域力や活性化の向上に貢献する取り組みについて、話題提供、質疑応答の場により行われる予定です。

主催:大阪の住まい活性化フォーラム(事務局:大阪府 東成区役所、東成図書館)

【概要】

(1) 主旨説明

- ・本日のセミナーでは、空き家の再生・活用を通じたまちづくりの可能性をお伝えし、区内の空き家の活用可能性を知っていただくことで、空き家の活用やまちづくりに目を向けていただきたい。
- ・具体的には、次の点を考えていただきたい。

「空き家の活用ってなんだろう」「地域は空き家をどのようにみているのか」「空き家をリノベーションすると何が生まれるか」「空き家を活用するにはどのような点に気をつけたらよいのか」

- ・このセミナーを通じて参加者同士もぜひつながりを築いていただいて、次の取組みにつなげていきたい。

(2) 講演①『がもよんにぎわいプロジェクト』長屋再生の取り組みについて

- ・飲食を母体とした、空き家を活用したまちづくりをがもよんで行っている。
- ・まちで遊んでもらうには、地域の風土にあったコミュニティを築くことが重要。空き家の改修をゴールとするのではなく、飲食店や店舗がそれぞれまちのコンシェルジュとなり、店主同士の交流からまちを盛り上げている。
- ・負の遺産と考えがちな空き家を変えたらどんなよいことができるだろうという発想で考えてもらいたい。

(3) 講演②『空き家のリノベーションで暮らしの場をつくる』木造空き家の改修のデザインと耐震補強について

- ・長屋暮らしは大阪の景観の中に今もあって、その魅力にひきつけられる人もいる。
- ・長屋改修のポイントは、「減築」「耐震補強」「素材を生かす」の3点。状態を丁寧に読み取って、きちんと直せば、木造住宅は直すことができる。
- ・チームを組むことを薦める。色んな人を巻き込みながら、掃除等から少しずつ変えていくことも空き家の利活用につながる。

(4) 講演③『東成区というまちの可能性』スーパー町内会活動を生かして

- ・東成区には、空き家を生かせる人がたくさんいる。家主の方には、未来への投資と思って、夢をもっていただきたい。
- ・東成区には、空き家所有者の事情を聞けるだけのコミュニティが存在している。コミュニティを介して、家主と利用希望者がつながることも東成のまちの良さではないか。
- ・利便性や充実した医療環境やシンボリックなまちの成り立ちに着目して、東成にしかできないことを考えてみてはどうか。その際、家主の夢と空き家を生かせる人をつなぐ不動産事業者の協力が欠かせない。

(5) パネルディスカッション

- ・空き家となっている背景には、様々な問題が重なっているケースが多い。そのため、専門家へ相談するなどして、問題を紐解いて、整えることが必要。
- ・空き家の所有者には、お金だけではなく手間をかける意識をもってほしい。実例に触れることは、未来に目を向けるきっかけとなる。
- ・空き家所有者にとって、不動産事業者やコミュニティへの相談はまだハードルが高いことも現実としてある。東成区の不動産事業者には、家主の夢や思いをくみとり、外に示して、まちをよくしたいと考えるコミュニティや利用希望者と繋げる意識ももっていただきたい。空き家を面白く生かすことで、まちの資産価値をあげることにつながる。
- ・長屋暮らしの調査をした経験からすると、これまでの家族像に捉われない、新しいライフスタイルを求める人たちと空き家の相性がとてもよいと感じる。また、そういう人たちがまちを元気にしてくれると思う。
- ・空き家の生かし方の第一歩は、「生かす」と決めること。「生かす」と決めたら、所有者や利用者、まちの人皆が未来のことを考えられるようになる。気の合う仲間を集めて、フラットな関係で一緒に作っていったらどうか。